

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

片山 中学校区 校番 12 学校名 片山中学校

a 学校教育目標	新たな創造への挑戦 ～片山プライドとともに～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) 生徒1人1人の自己実現を支え、持続可能な地域づくりの核となる人材を育成する (ビジョン)(将来の学校像) 「活気ある安心・安全な学校」「家庭・地域から信頼される学校」「教える・かかわりきる学校」
----------	---------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	令和元年度は小中一貫教育の下「学び合い」を軸とした「考える授業」づくり、「防災学習」を軸とした地域協働学習に取り組んだ。これらは学力向上に一定の成果があり、規範意識やボランティアに対する意識も高まりつつある。 今年度は9年間の地域学習の系統性を整理して「考える授業」づくりに取り組み、学力向上と防災意識の高揚を目指すこと、生徒指導の三機能を生かした指導で社会性を高めること、主体的に健康増進に取り組む力を高めることを重点として取り組んでいく。 また、国の示す「月45時間以内」「年間360時間以内」という指針を達成できる体制づくりを進めていく。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	協働的な態度
-------------	-------	-------------	--------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学び	主体的に学ぶ生徒の育成	思考力・判断力・表現力の伸長	授業、家庭学習、定期試験のつながりを意識し、活用型の問題に取り組ませる。	・定期テストの活用型の問題の正答率 ・生徒アンケートにおける家庭学習に係る項目の向上	60%	61%	102%	A	57%	95%	B
					70%	57%	81%	B	58%	83%	B
					80%	89%	112%	A	90%	112%	A
** 豊かな心	礼節を身に付け、社会に貢献できる生徒の育成	礼節・規範意識の向上と、他者との協働	全ての委員会が学期に1回以上ボランティア活動に参加し、生徒が企画、運営をし、実施をする。	生徒アンケートにおける「ボランティア」に関する項目の肯定的評価の割合	80%	20%	25%	D	65%	81%	B
					80%	83%	103%	A	84%	104%	A
* 健やかな体	心身ともに健康な生活を主体的に構築できる生徒の育成	主体的な生活改善	朝食、睡眠、排便等の大切さをさわやかカードを実施することで、基本的な生活習慣への自覚を高め、GTによる授業や講演会を開催し、家庭との連携を強化する。	睡眠・排便のそれぞれ2項目で自己目標値を達成する生徒の割合	睡眠70%	62%	88%	B	57%	81%	B
					排便70%	82%	117%	A	86%	123%	A
		主体的な体力向上	生徒会活動、くれチャレンジマッチスタジアムなどを活用した継続的な体力づくりを進める。	「50m走」「ハンドボール投げ」で県平均を上回る生徒の割合	80%	未実施			75%	94%	B
業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	生徒と向き合う時間の確保	会議の時間縮減と業務内容の精選	生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	90%	75%	83%	B	58%	64%	C
		長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底 部活動休養日の定着	一月の時間外勤務45時間以下の教職員の割合	100%	86%	86%	B	87%	87%	B

[k:評価]
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60